

松本秀峰中等教育学校

開校10周年を 祝う記念式典

松本市の松本秀峰中等教育学校は24日、開校10周年の記念式典を同市のまつもと市民芸術館で開いた。生徒や卒業生、保護者ら計600人余が出席。同校オーケストラ部に



記念式典で演奏する松本秀峰中等教育学校オーケストラ部の生徒たち

による演奏などで祝い、炭素材カーボンナノチューブの量産法を開発した遠藤守信・信州大特別特任教授による記念講演もあった。

小宮山淳校長は「(中等教育学校の)6年間の時間的ゆとりを生かし、生徒の個性や校内外の活動を大切にしてきた。決意を新たにしたい」とあいさつ。高校2年に当たる同校5年の生徒会長、長岡凜さん(16)は「やりたいことを真つすぐに追い求める先輩たちの気概を受け継ぎ、さらに伝統をつくっていきたい」と決意を示した。

同校は2010年、県内初の6年制の中等教育学校として開校。第1期生の一部が今春、社会人になった。開校10周年の記念事業として11月には新校舎の建設に着手し、22年に完成する予定だ。